

# 電波利用促進フォーラム' 12.05 【アンケート集約結果】

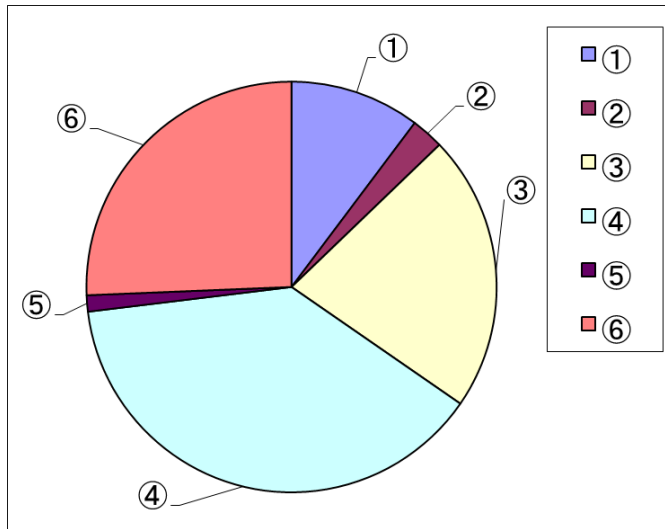
- 日時 平成24年5月28日(月) 15:00~17:10
- 会場 岡山国際交流センター 2階 国際会議室
- 主催 総務省中国総合通信局、岡山県、岡山県高度情報化推進協議会、岡山IPv6コンソーシアム、中国情報通信懇談会
- 協賛 情報通信月間推進協議会
- 後援 中国地方非常通信協議会
- 参加者数/アンケート回収数 130名/67名 (回収率51.5%)

## 1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国総合通信局
- ②中国情報通信懇談会
- ③岡山県
- ④岡山県高度情報化推進協議会
- ⑤新聞等
- ⑥上司・同僚・知人等

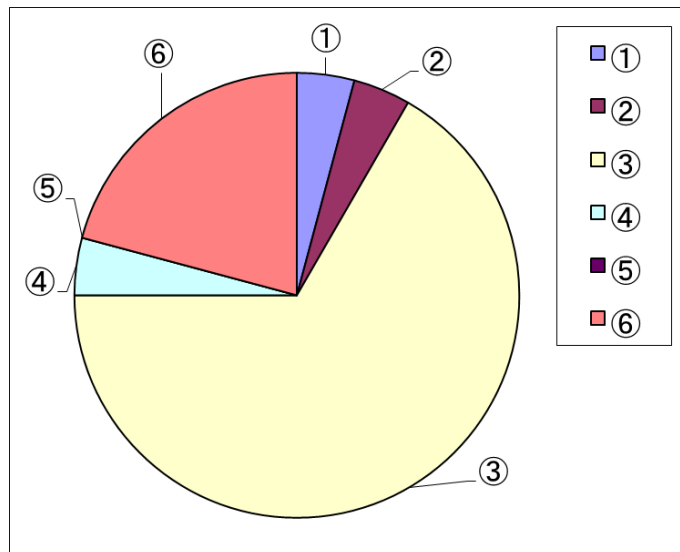
番号	回答数
①	8
②	2
③	17
④	30
⑤	1
⑥	20
計	78



## どのような方法で

- ①HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて

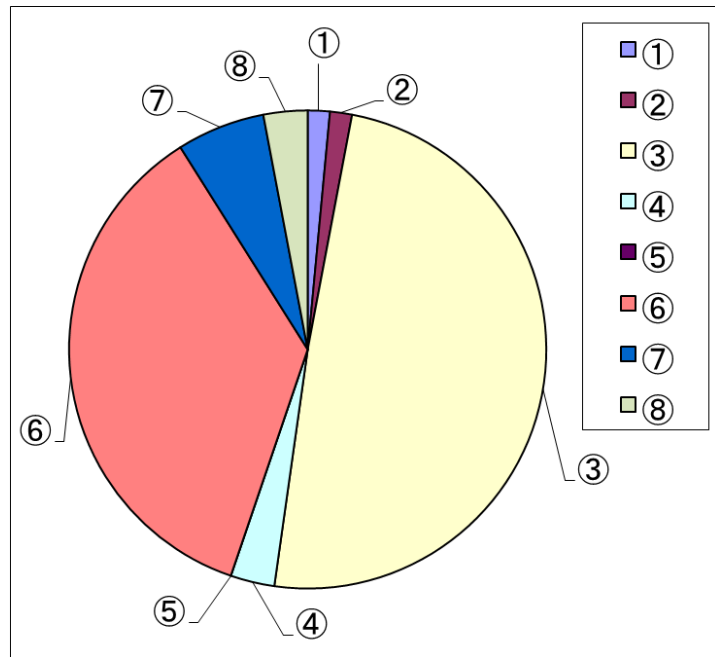
番号	回答数
①	3
②	3
③	48
④	3
⑤	0
⑥	15
計	72



2 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ①製造・販売    ②エネルギー    ③情報通信    ④放送    ⑤サービス    ⑥公務  
 ⑦その他の事業    ⑧個人

番号	回答数
①	1
②	1
③	33
④	2
⑤	0
⑥	24
⑦	4
⑧	2
計	67



3 本フォーラムの各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演1 『東日本大震災等を踏まえた取組と防災ICTの今後の展開』

講師：総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 重要無線室長 森下 信 氏

大変参考になった	10	興味がわく話だった	22
参考になった	46	興味がわかない話だった	9
あまり参考にならなかった	11	おもしろかった	3
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	3

1. 協議会の議論も重要かと思いますが、今回は防災ICTの具体的なシステム内容についても講演いただきたい。
2. 災害時の状況がタイムリーに分かる手段が開発されたらと思う（携帯等での利用）
3. 岡山県内でも、災害時における通信インフラの業務継続が（官民間問わず）重要課題となっている。講演の中で触れられていた「検討会」では、有効な提言がなされていることが分かったので、ホームページで調べて見ようと思った。
4. 草の根防災ICT的な取り組みが存在するのか？
5. 防災ICTの今後の展開の紹介が聞かれなかったのは残念です。
6. 論点がよくわからなかった。
7. 内容は重要なものばかりであるが、同じような話が多く、頭に入ってこなかった。資料（スライド）も小さな文字が詰め込まれ、非常に見づらい。
8. 地方の非常通信協議会への展開を希望。

講演2 『コグニティブ無線技術を用いた東日本大震災後の通信支援』

講師：独立行政法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所

スマートワイヤレス研究室 研究員 石津 健太郎 氏

大変参考になった	13	興味がわく話だった	36
参考になった	45	興味がわかない話だった	1
あまり参考にならなかった	3	おもしろかった	11
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	1

1. コグニティブ無線が今後の通信を変えていくかもしれないと思った。
2. コグニティブは初めて聞く技術でしたが、公共無線LANの基礎技術として有益だと感じました。
3. 平常時であれ、災害時であれ、快適にインターネット接続できる環境を維持することが大切であり、コグニティブ無線技術はそのために有益であると感じた。
4. P. 32 被災時の対応マニュアルも通信環境は日進月歩で時代に合ったマニュアルを作成しなければならない点が新鮮であった。
5. 単なるデザリング(?)と比べコグニティブはどの程度有効だったのだろうか?
6. 災害時、どの事業者の通信が使えるのか知りたかった。
7. コグニティブ無線の利用(活用)事例から災害現地でのニーズと背景まで参考になる内容であった。
8. 実用レベルになれば良いと思う。費用・技術・管理
9. 生々しい話が伝わり、非常に興味深く聞くことができました。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. ワイヤレスネットワークとセキュリティ
2. 安定したデータの移行が出来るような利用が出来れば固定がいらなくなるのではないか。
3. 災害に強い無線通信の確保が社会や生活インフラにおいて非常に重要である。強かに推進されたい。
4. 災害に強いIT(インフラ)のために、有効活用されるべきホワイトスペース(地デジによって空いた周波数帯)はそうした活用がされているのかどうか。

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. IPv6対応について。
2. 公共・民間施設いずれも無線LANアクセスポイントが急増している。(岡山で)急増だけでなく、乱立に近い箇所も出てきており、混信等の問題も出てくるので、そうした問題をテーマ(今後どうあるべきか)に岡山で講演会を開催して欲しい。